

「市民5分間演説」を実施いたしました

12月定例会の民生文教常任委員会の開会前に、1名の方が「市民5分間演説」を行いました。

テーマは「待っている福祉」から「手をさしのべる福祉」で子育て世帯を支援するアウトリーチ型の子育て支援についての内容でありました。今後も市民の皆様に参加をお待ちしております。



「市民5分間演説」をしてみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様に参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

（演説申込について）

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書（様式第1号）を提出してください。

なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



〈大田原中学校長〉
益子 雅明



12月議会ということで、外は紅葉もほぼ終わり、時折吹いてくる北風に本格的な冬の到来を感じる12月12日。

私は、大田原市議会定例会を傍聴させていただく機会を得ました。市議会の傍聴は、今回で5度目となります。今回の傍聴をとおして、大きく二つのことが印象に残りましたので後述します。

まず一つ目は、新庁舎7階にその存在感と威厳を醸し出す新議場の素晴らしさです。最新の技術を備え、機能性も高く、見た目もとても美しい施設であることをこの目で確認できたということですね。

二つ目は、質問をする側の議員の方々、そして答弁をする側である行政の方々のやり取りです。議員の方々の質問については、いずれの質問も吟味され、精選されていること。さらには、市民生活の向

上を求めるものであり、様々な分野の様々な事象を綿密に調査し、的を射た質問内容であると感じました。

一方、行政の方々の答弁については、すべての質問に対して誠実かつ丁寧に行われているということ。さらには、市民の満足度が高く、暮らしやすい街づくりを主眼に置いた市政を目指していると感じました。

今回に限らず、市議会傍聴後には、私は特別な充実感があります。それは、行政はもちろん、市民の代表である議員の方々が『最高の大田原市』ということを考えて、大いに議論を交わしてくれているということですね。皆さん本当にありがとうございます。そして、今後とも『市民の、市民による、市民のための政治』の存続をよろしく願っています。頑張ってください。